

縦貼り専用
壁面化粧パネル(内装)

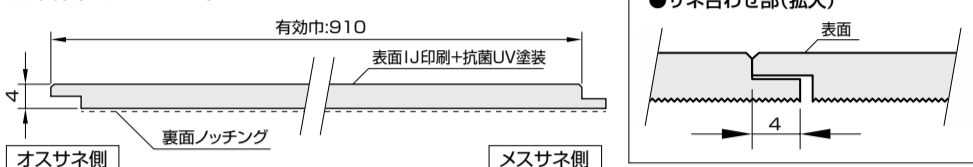
アルパレージ(壁面施工)

施工説明書

このたびは、フクビ「アルパレージ(壁面施工)」をご採用いただきまして有難うございました。
下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

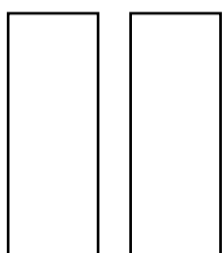
■製品図

■本体(アルパレージ)



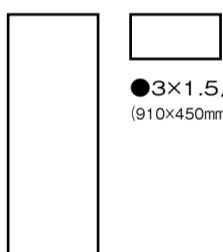
■構成部材

■本体(アルパレージ)



●3×8尺
(910×2,450mm, 2枚入り)

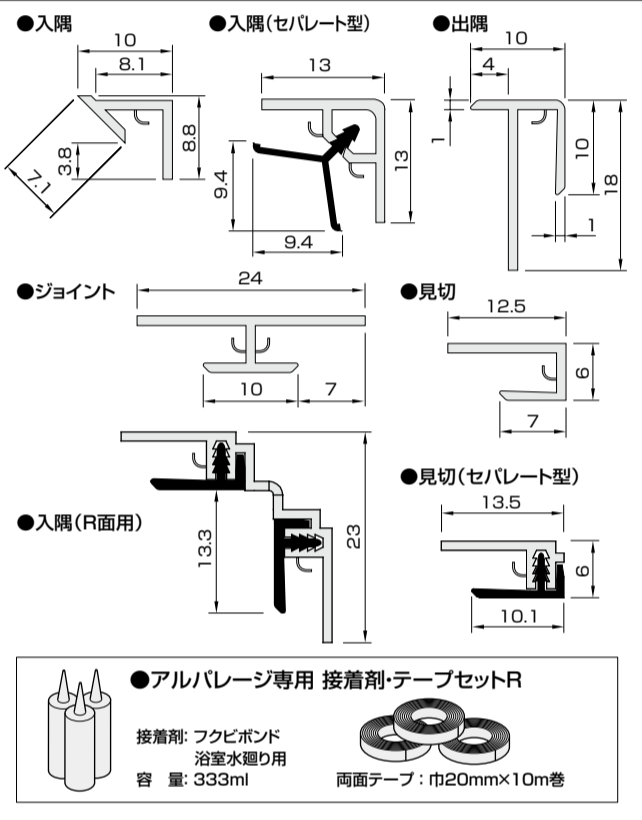
■本体(アルパレージ 開口部セット)



●3×1.5尺
(910×450mm, 1枚入り)

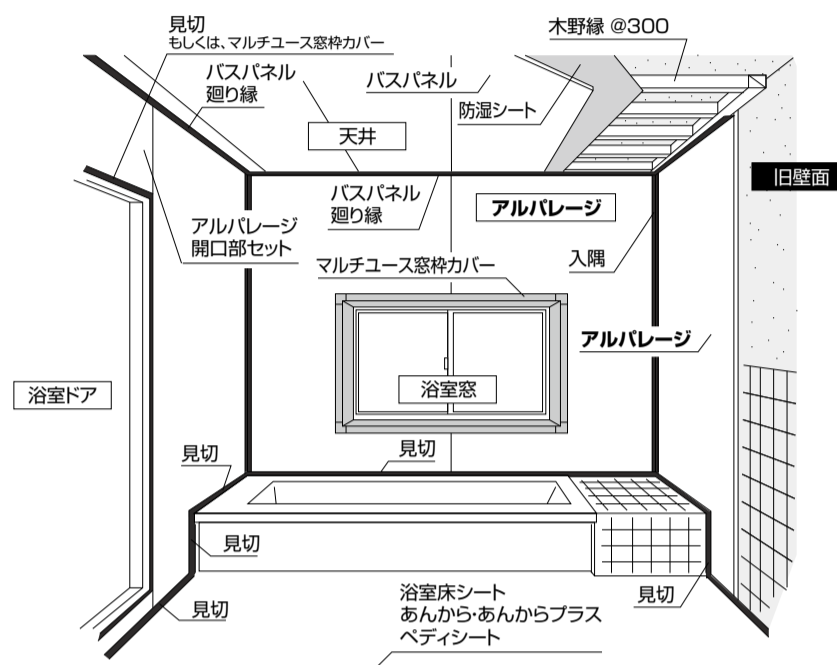
●3×8尺
(910×2,450mm, 1枚入り)

■別売施工部材

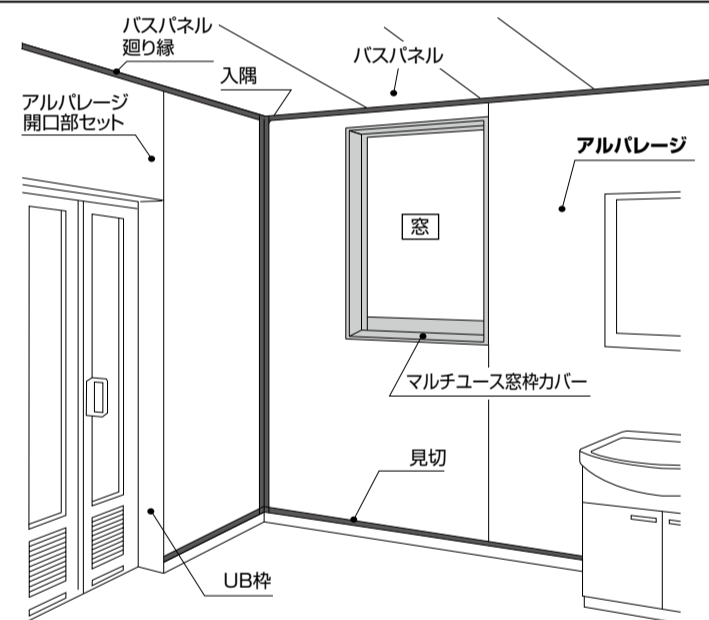


■全体のイメージ

浴室イメージ



脱衣所イメージ



⚠️注意 施工にあたって

- 使用場所：脱衣所、トイレ、浴室の壁面
- 内装制限のある場所では使用できません。
- 屋外では使用しないでください。
- アルパレージを1面に3枚以上施工する場合には、2枚目以降おきにジョイントを施工してください。
- 縦貼り専用です。横貼りでは使用しないでください。
- 施工の際には必ず別売のアルパレージ専用接着剤・テープセットRを使用してください。
- 5℃以下の環境では施工しないでください。接着剤の硬化不良の恐れがあります。
- 湿気を帯びた下地には施工しないでください。
- シャワーフックや棚を取り付ける場合は、下地がある場所に取り付けるか中空アンカーを取り付けるかなどして十分に強度を確保してください。
- 手すりを取り付ける際は、十分に下地の強度に配慮ください。

⚠️注意 熱環境に対して

- 浴室が50℃以上となるようなサウナ風呂などへの使用は避けてください。
- 60℃を超える熱湯をかけないでください。
- 24時間風呂には使用しないでください。
- 暖房用排気口からの温風が直接パネルに当たることを避けてください。
- 給湯・蒸気配管には必ず保護カバーを取り付け、30cm以上パネルから離して施工してください。
- アルパレージは熱環境の変化により伸縮します。必ず以下の施工要領に従って施工してください。
- ドライヤーやストーブなどの熱を化粧板の表面に直接当てないでください。反りや変形の原因となります。
- 施工時、投光器、ハダカ電球等の接触を避けてください。反りや変形の原因となります。

⚠️注意 殺菌灯の使用について

- 殺菌灯は使用しないでください。直接アルパレージに照射されると変色が発生します。

⚠️注意 メンテナンスについて

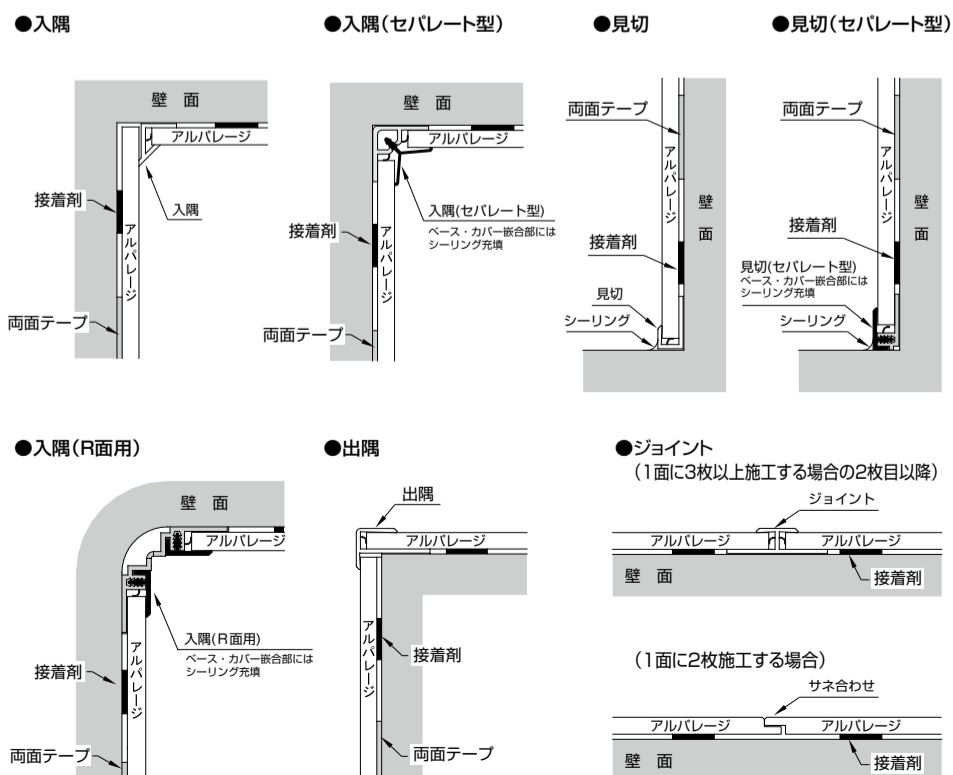
- 有機溶剤(ベンジン・アルコール等)の使用はさけてください。
- カビ取り剤などの強アルカリ・漂白剤または強酸の洗剤を使用する場合には短時間(30分以内)の使用にとどめ、使用後は確実に洗い流してください。変色の原因となります。
- ワックスなどの艶出し成分を含む洗剤は使用しないでください。
- 汚れが付いた際には速やかに中性洗剤をスポンジなどで拭き取り水洗いしてください。
- カビが発生した際には速やかに除去してください。遅れると化粧層内部に菌糸が侵入し取れなくなる恐れがあります。



⚠️注意 輸送および保管時の注意事項

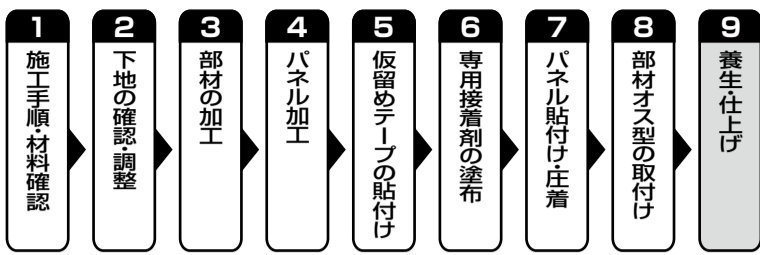
- 搬入、現場内での運搬時は2人以上で作業してください。
- 積下ろしの際、角欠けなど破損しないように注意してください。
- 落下の恐れのある状態での放置は避けてください。
- 保管は壁面やコンクリート床面への直置きは避け、厚床パレットの上に平積みし、シート類で保護し保管してください。壁などに立てかけることはその原因になりますので避けてください。
- 雨水や直射日光を避け、風通しの良い屋内に保管してください。施工中の一時的に立てかけの際は、角・端部の欠け、破損防止のため厚紙・クッション材などで養生してください。
- 吊り上げる際は当て板などを用い、ロープかけによる損傷を防止してください。

■納まり例(部材は接着剤施工)



■施工要領

《施工の流れ》



1. 施工手順・材料確認

施工の手順および施工材料の不足がないか確認してください。時計回りでの施工を行ってください。印刷面を正面にオスサネが左手側になるようにパネルを施工してください。

※柄によっては上下の方向性のあるものがあります。

※アルパレージを1面に3枚以上施工する場合には、2枚以下おきにジョイントを施工してください。

2. 下地の確認・調整

対応下地: (在来浴室) タイル、リシン、モルタル (ユニットバス) FRP、化粧網板 (トイレ・脱衣所) タイル、石膏ボード、合板、ケイカル板、モルタル、クロス

タイル・モルタル面について

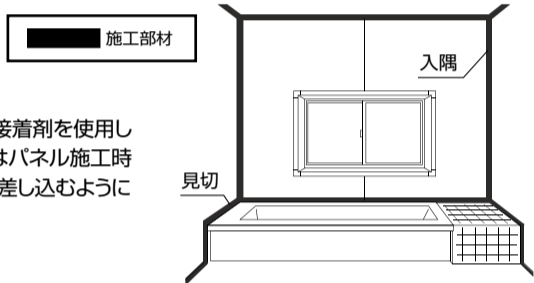
不陸に加え水濡れがないことも十分に確認してください。下地に不陸がある場合には両面テープなどで調整してください。

- 注意**
- 浴室については、下地で防水対策が施されていることを確認してください。
 - 下地表面のゴミ、汚れなどは取り除き、十分に乾燥させてください。
 - 下地に不陸がないことを確認してください。(直定規・レーザーレベル等を使用し確認してください) 両面テープの2重貼りで調整可能な不陸は2mmまでです。2mmを超える場合は下地で調整してください。
 - 下地ボードはビスなどによりしっかりと固定してください。
 - クロス面へ施工する場合にはクロス剥がれが生じない様にクロスの継ぎ手を中心にクロス上からタッカー止めを行なってください。
 - 対応下地以外への施工はしないでください。

3. 施工部材の加工

壁と床・天井・浴槽との境界、壁入隅・出隅、開口部廻りの部材を準備します。

セパレート型の部材は先にメス型を躯体に専用接着剤を使用して取り付けてください。その他の一体型の部材はパネル施工時にパネルにくっませる、または後でパネルに差し込むようにして施工を行います。



4. パネル加工

切断: NTカッター、パネルソー、ランニングソー、ハンディ丸ノコ/穴加工: ドリル、ホルソー/仕上げ: かな、ヤスリ、サンドペーパー

《カッターでの切断》

切断は定期、当木を用いて化粧面からカットし、化粧面を表にして折り曲げます。

ジョイント材を使用する際は、パネルのサネをカットしてください。カットしないと製品の伸縮で、隙間が発生する可能性があります。



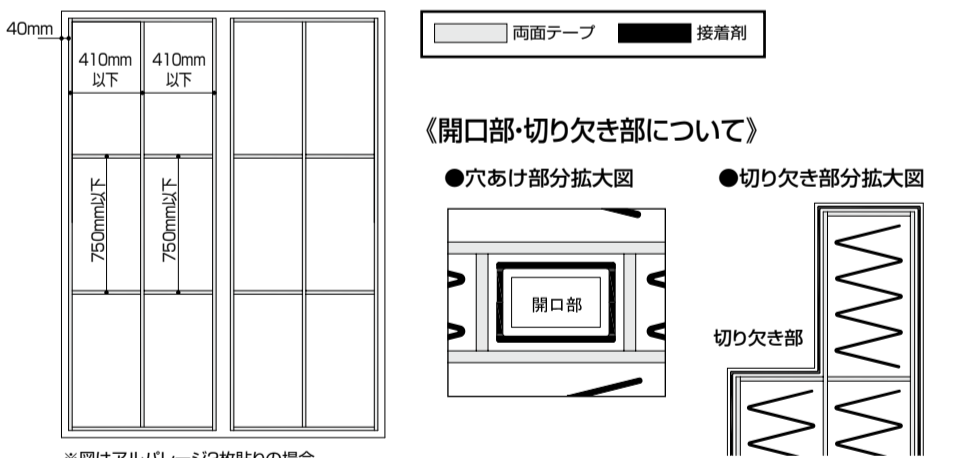
- 注意**
- ドリル等で穴あけする際にはカケ防止のため表面から行なってください。
 - バリが出た際には手をケガしないように注意ください。

5. 仮留めテープの貼付け

アルパレージ専用接着剤・テープセットR(別売)の両面テープを下地側に貼付けてください。

下図のように縦方向は750mmピッチ以下、横方向は410mmピッチ以下になるように貼付けてください。

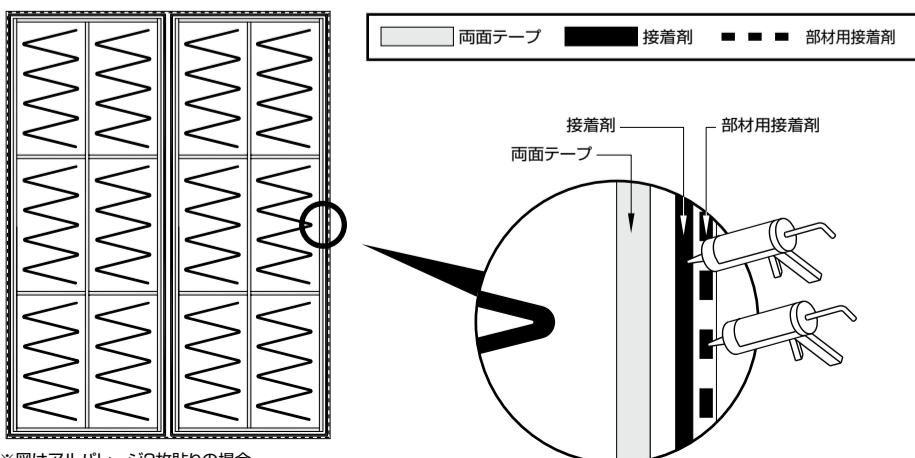
パネル端部に接着剤を塗布するためのスペース40mmがあくように下地にテープを貼付けてください。



- 注意**
- 下地側に両面テープ貼付・接着剤塗布してください。
 - 切り欠き部・開口部は必ず両面テープ貼付及び接着剤により固定してください。

6. 専用接着剤の塗布

アルパレージ専用接着剤・テープセットR(別売)の接着剤を下図のように両面テープ間は波線状、端部は直線状に塗布してください。接着剤の貼付け可能時間は接着剤塗布後、約20分です。



※図はアルパレージ2枚貼りの場合

注意

- 接着剤はテープ厚さより3mm以上高くなるように塗布してください。
- 接着剤塗布後20分以内にパネルを貼付してください。
- 両面テープは仮留め用ですので必ず接着剤を併用してください。
- 塗布量目安はパネル(3×8尺)2枚に対して専用接着剤を2.5本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれ等の原因となります。
- 開口部・切り欠き部は両面テープ・接着剤により固定してください。

7. 貼付け・圧着

両面テープの離型紙を剥がしてください。両面テープがパネルに接触しないように浮かせた状態で位置決めをした後、パネルを貼付けます。一体型の部材はパネルを施工する際に取り付けてください。その後パネルに浮きが発生しないように注意して貼付・圧着してください。

張り仕舞い部分のパネルに一体型の部材を使用する場合は、最後のパネルを貼る際にパネルに部材をくっませる、または貼付け後にパネル側面から部材を滑り込ませて納めてください。

セパレート型の部材を使用する場合はパネルを施工後に部材メス型にオス型を嵌ませます。

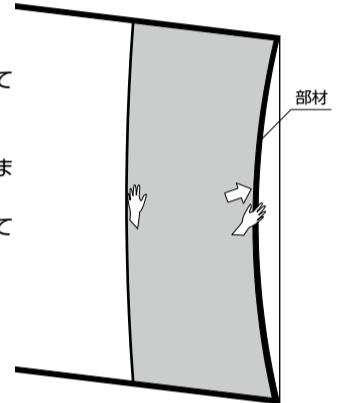
注意

- 貼付作業は2人以上で行なってください。
- 接着剤塗布後20分以内に作業を完了してください。
- 両面テープは仮留め用です。必ず接着剤と併用してください。
- 圧着する際には両面テープ部を強く圧縮してください。接着剤部を抑えると泣き別れの可能性があります。
- 部材の固定は接着剤により確実に行ってください。

■張り仕舞いのポイント

以下のポイントを参考にしてください。

- あらかじめ両面テープ・接着剤を下地に貼り付け・塗布してください。
- 両面テープに付かないようにパネルをたわませながら位置調整を行ってください。
- サネがある場合は目地が空かないようにパネル位置を調整してください。ジョイント等の部材の場合にはパネルを部材の方向に押し込み、滑り込ませてください。
- 目地、部材との嵌合の状態を確認しながらパネルを下地に貼り付けてください。



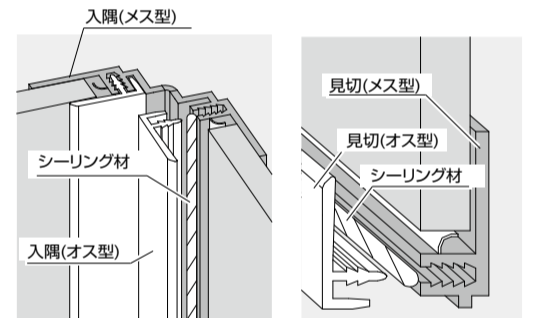
8. 部材オス型の取り付け

事前に取り付けておいた部材メス型に対して、オス型を差し込んでください。

取り付けの際には必ずシリコンシーリング材を入れてからオス型を取り付けてください。

シーリング材がはみ出した場合には、速やかに拭き取ってください。

取り付けの際に、不陸などの影響でオス型が浮く場合は養生テープで固定を行い、養生してください。



注意

- セパレート型の部材の施工には、必ずシーリング材を併用してください。
- 取り付けの際に、はみ出したシーリング材は速やかに拭き取ってください。

9. 養生・仕上げ

窓廻り、天井など他に施工箇所がある場合は先に施工を行ってください。この際、壁面を傷つけないように注意してください。

水廻りに施工を行った際には仕上げにシリコンシーリングでコーキングを行ってください。

壁と床・浴槽との取り合い部分やコーナー部や開口部・窓枠周辺の隙間にコーキングを行います。

また、部材とパネルとの間に隙間が生じた場合にも隙間をコーキングで埋めてください。

接着剤・シーリングが硬化するまで24時間以上養生してください。

施工確認後、取扱説明書をお施主様にお渡しください。

